

# 機密書類未開封処理の流れ

受入



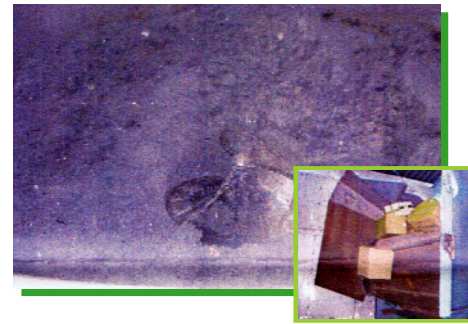
トレーラーの受入れも可能な大型シャッター受入れは8:30~15:30の完全予約制

投入



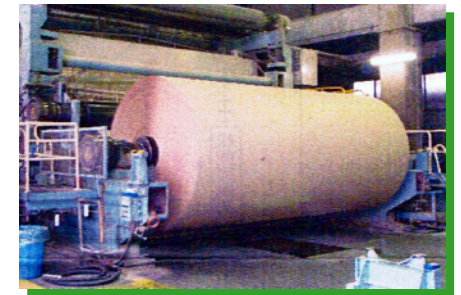
書類箱を未開封のまま溶解

溶解



投入から溶解までを自動運転で行い高い機密性を保持

再生



溶解された機密古紙は製造工程に送られ段ボール原紙等に再生



## セキュリティーも万全！



即日溶解できない場合は施錠付き専用スペースに保管可能



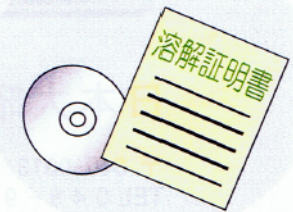
暗証番号入力により部外者の立入りを遮断



待機室にて搬入から溶解までモニターで確認可能



ご希望があれば「溶解証明書」の発行及びモニターの「DVD録画」も可能です



## 特徴

1. 機密書類を原料として利用  
外部遮断の密閉型設備で書類箱を未開封のまま溶解  
運転は全自動で行い、高い機密性を保持
2. 優れた立地条件  
古紙の大量発生地である関東の中心に位置し、物流面でのメリットが大きい
3. 機密古紙専用保管スペースの確保  
即日溶解できない場合、施錠付きの専用スペースに保管可能

## 設備概要

1. 建屋<外部遮断 密閉型>
  - ・床面積812㎡・シャッター3箇所  
(外部1ヶ所：トレーラーの入出可能、内部仕切り2ヶ所)
2. パルパー仕様
  - ・処理能力 2,100t/月(100t/D)
  - ・運転方法 自動運転(バッチ式)
3. セキュリティー
  - ・暗証番号入力による入退出  
(専任者のみ入出可能、シャッター：内部操作のみ)

